

“龍ナビ”でインターンシップ情報をチェック

ログイン方法

“龍ナビ”へ今すぐアクセス

“龍ナビ(龍大就職ナビ)”では、インターンシップ関連を含め、様々な情報収集が可能です。キャリアセンターのTOPページにアイコンがありますので、クリックしてログインしてください。

ブックマークを推奨します
URL <https://career.ryukoku.ac.jp/>

1 キャリアセンターTOPページ



2 龍ナビログイン画面

在学生のみなさんへ
龍大就職ナビ
(龍ナビ) ☞



ポータルサイトにアクセスする時のID・パスワードでログインすることができます。(全学統合認証)



3 龍ナビメニュー画面



インターンシップ情報検索

「協定型(短期体験型)インターンシップ」「自己応募型インターンシップ」の募集情報が検索できます。(企業名や業種、実習地などから検索可)

協定型インターンシップ出願登録

協定型インターンシップ出願票を出力できます。必須事項を登録してプリントアウトした出願票に、志望理由・承諾事項を記入のうえ、写真を貼ってインターンシップ支援オフィス(大宮学舎はキャリアセンター)に提出してください。

インターンシップ体験記の閲覧

過去にインターンシップに参加した学生の体験記を検索できます。実際の実習プログラム内容や体験談を読むことができます。

お問い合わせ先

龍谷大学キャリアセンター・
インターンシップ支援オフィス(深草)
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel:075-645-2322 Fax:075-645-2380
intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

龍谷大学キャリアセンター・
インターンシップ支援オフィス(瀬田)
〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5
Tel:077-544-7265 Fax:077-544-7264
intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

2019 INTERNSHIP PROGRAM

龍谷大学インターンシッププログラム

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

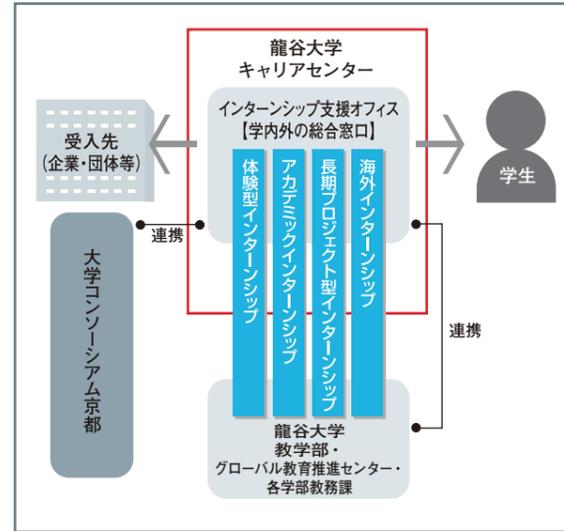
基本理念

龍谷大学で実施するインターンシップは、社会現場での実体験をとおり、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして位置づけ全学的な取り組みとして展開しています。

このパンフレットでは、「協定型インターンシップ」、「短期体験型インターンシップ」、「大学コンソーシアム京都インターンシップ」について紹介します。

- ①社会現場を踏まえた幅広い知識とスキルの教育
- ②人生観・職業観確立への支援
- ③自主性・自立性・社会性の涵養等を目的としたコーポ教育

運営体制



インターンシップ・プログラム 対照表

インターンシップに参加することによって、実社会での経験を通じて将来の進路を考えるきっかけになります。

また、自分の強みや弱みを知ること、大きく成長するチャンスが生まれます。3年生はもちろん、1～2年生も積極的に参加してください！なお、経済同友会を介した「*東京チャレンジインターンシップ（1・2年生対象）」は協定型インターンシッププログラムに準じます。

実施主体	龍谷大学		大学コンソーシアム京都		
	協定型 インターンシップ	短期体験型 インターンシップ	ビジネス・パブリック コース	プログレス コース	
プログラム概要	龍谷大学が協定を締結する企業・団体等において約2週間のインターンシップ実習を行います。全21講におよぶグループワークを主体としたゼミ・演習形式にて行う事前・事後学修が充実しています。	龍谷大学が協定を締結する企業・団体等において約1週間のインターンシップ実習を行います。事前・事後学修ではビジネスマナーや職業観を学び、実習後の振り返りもを行います。	京都にある大学が連携して運営する「大学コンソーシアム京都」が実施するインターンシップです。企業・行政機関・非営利組織(NPO・NGO等)において2週間～1か月程度のインターンシップ実習を行います。	京都にある大学が連携して運営する「大学コンソーシアム京都」が実施するインターンシップです。企業・行政機関等が提示したテーマに沿って、約5ヶ月間、プロジェクト型インターンシップ実習を行います。	
参加決定までのスケジュール	2ページ目を参照				
選考・マッチング方法	書類および面接選考により本学にてマッチング	書類選考により本学にてマッチング	書類および面接選考により大学コンソーシアム京都にてマッチング	書類および面接選考により大学コンソーシアム京都にてマッチング	
実習期間	2週間～1ヶ月程度 原則、実働10日間以上	1週間～2週間程度 原則、実働5日間以上	2週間～1ヶ月程度	5ヶ月間程度 (受入先ごとに異なる)	
実習時期	夏期休暇中 (原則として、8/19(月)～9/7(土))	夏期休暇中 (原則として、8/19(月)～9/7(土))	夏期休暇中 (8月中旬～9月中旬)	6月～11月 (受入先ごとに異なる)	
事前・事後学修	インターンシップ参加前	90分×13回	90分×10回 60分×3回	90分×10回	
	インターンシップ参加後	90分×8回	90分×1回	90分×2回 60分×3回	90分×10回
	合計時間数	31.5 h	12 h	24 h	30 h
	実施会場	本学 大宮・深草・瀬田キャンパス	本学 深草キャンパス	本学 深草キャンパス	キャンパスプラザ京都
プログラム内容	3ページ目を参照		6ページ目を参照		
単位認定	○*	—	○*	○*	

*東京チャレンジインターンシップの詳細は、インターンシップ支援オフィスにご確認ください。
*単位認定の有無や要件については、各学部の履修要項もしくは教務課にて確認してください。

2019年度 インターンシップ・プログラム 参加決定までのスケジュール (予定)

「大学コンソーシアム京都インターンシップ」に不合格の場合、「協定型インターンシップ」再マッチングに出願することが可能です。また、「短期体験型インターンシップ」も出願時期が異なるため、出願することができます。(ただし、参加できるのはいずれか1つだけです)

時期	龍谷大学		大学コンソーシアム京都
	協定型インターンシップ	短期体験型 インターンシップ	ビジネス・パブリックコース、 プログレスコース
4/9(火)～4/12(金)	インターンシップガイダンス		
4/19(金)～5/8(水)			WEB申込
5/7(火) 5/8(水) 5/9(木)	出願票の提出		
5/10(金)～5/11(土)			出願票の提出・面接選考
5/15(水)～5/20(月)	面接選考		
5/31(金)～6/4(火)	選考結果発表	不合格の場合は、 再マッチングへ チャレンジ!	選考結果発表
6/1(土)	再マッチング希望者出願	大学コンソーシアム京都インターンシップ不合格者も協定型再マッチングへ出願可能!	不合格の場合は、 短期体験型へ 再チャレンジ!
6/3(月)～6/5(水)			
6/3(月)～6/11(火)	受講手続		
5月下旬～6月初旬		短期体験型インターンシップガイダンス にて、出願方法、実習先等を告知	
6/12(水)～6/14(金)		出願票を提出	
6/26(水)		選考結果発表	
6/27(木)～7/3(水)		受講手続	

※上記スケジュールは予定です。

上記プログラム以外にも「自己応募型インターンシップ」があります。
インターンシップ実習の日程が重ならなければ、上記プログラムと併せて参加できます。

2019年度 協定型インターンシップ 授業計画(予定)

グループワークを主体とした事前・事後学修

計21回に及ぶ事前・事後学修は、ゼミ・演習形式にて専任教員が責任を持って運営します。

グループワークを主体として進行し、問題解決等に取り組むことによって、課題発見力や主体性、発信力や傾聴力といった社会で求められる様々な能力を身につけることができます。

学部・学科を越え多様な価値観にふれる

普段は関わるのが少ない他学部・学科の学生との交流は、多様な価値観にふれる貴重な機会です。

また、事後学修ではインターンシップでの体験内容を学生が相互に報告し合うことで、異なる実習先での学びを疑似体験できます。

	学舎	日	時	講師	講義名	内容
①	大宮	6月22日 (土)	1限目	担当教員 総合コーディネーター	オリエンテーション 龍谷大学の歴史 (自校史学修)	・学長あいさつ ・インターンシップ支援オフィス長挨拶 ・総合コーディネーター、担当教員からのコメント ・インターンシップにどのような態度で臨むべきか ・事前・事後学修の概要と諸注意 ・自校史を知り「龍大代表」としての自覚を持つ
			2限目			
			3限目	事前学修全体ワーク	事前学修グループワーク① 事前学修グループワーク②	ゼミ形式によるグループワーク(クラス毎に自己紹介、チーム分けと目標設定など)
			4限目			
②	深草	6月29日 (土)	1限目	外部講師	ビジネスマナー①	外部講師によるビジネスマナー講習(心構え、第一印象、敬語の使い方、マナーなど)
			2限目		ビジネスマナー②	外部講師によるビジネスマナー講習(電話応対(事前訪問時の電話応対)、来客応対、名刺交換など)
			3限目	外部講師 総合コーディネーター	OB/OGによる パネルディスカッション	「私にとっての職業。職業を通じて考える人生」
学生による実習先直前訪問(7/1~7/12)						
③	深草	7月6日 (土)	1限目	担当教員 総合コーディネーター	事前学修グループワーク③	ゼミ形式によるグループワーク(報告作成を前提に、各クラスのチーム毎にインターンシップにおけるチャレンジ目標を議論して設定)
			2限目		事前学修グループワーク④	
			3限目	外部講師 総合コーディネーター	事前学修グループワーク⑤	「職」の専門家による 仕事概論
			4限目		企業経営者による講演(予定)	
④	瀬田	7月13日 (土)	1限目	担当教員 総合コーディネーター	実習直前 オリエンテーション	インターンシップの意義、準備、諸注意、ハラスメントについて
			2限目	担当教員 総合コーディネーター	結団式	総合コーディネーター・担当教員からのコメント
			3限目	教員	事前学修グループワーク⑥	ゼミ形式によるグループワーク(最終確認)
			4限目	補講① ※	補講① ※	インターンシップ実習期間が実働10日間に満たない場合、補講①②の両方に出席が必要です。
			5限目			
インターンシップ実習(原則として、8/19~9/7の期間中、2週間程度)						
⑤	深草	9月12日 (木)	1限目	担当教員 総合コーディネーター	実習後オリエンテーション	総合コーディネーター 実習後の確認30分程度
			2限目		事後学修グループワーク①	ゼミ形式によるグループワーク(インターンシップでの学修内容を共有し、報告にまとめる作業)
			3限目	事後学修グループワーク②		
			4限目	事後学修グループワーク③	補講② ※	インターンシップ実習期間が実働10日間に満たない場合、補講①②の両方に出席が必要です。
5限目	事後学修グループワーク④					
⑥	深草	9月13日 (金)	1限目	担当教員 総合コーディネーター	事後学修グループワーク⑤	ゼミ形式によるグループワーク(プレゼンテーション作成と各クラスにおけるプレゼンテーション)
			2限目		事後学修グループワーク⑥	
			3限目		学内報告会	各クラス選抜チームによるプレゼンテーション
			4限目			
			5限目			



▲「なぜマナーが必要か」をテーマにグループで話し合い、単なるノウハウに終始せず、自ら考え答えを見つける主体性を身につけます。



▲実習を通じて喚起された問題意識、関心、経験等を今後の大学での学修課題や人生設計(職業設計)につなげることで、インターンシップを総括します。



▲実習終了後の報告会で、実習生同士振り返りを共有し、学びの成果を深めます。



▲報告会終了後の評価会。実習受入先のご担当者様との交流を深めます。

※上記プログラムの学舎・内容は変更になることがあります。
※インターンシップ実習期間が実働10日間に満たない場合、補講への出席が必要です。予定を空けておいてください。

協定型インターンシップ 実習生インタビュー

参加した学生は確かな成長を実感し、未来に向けて羽ばたきます。



村松 志穂さん
文学部仏教学科
3年生

インターンシップ先▶株式会社JTB 京都支店

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A. 動機としては、長期のインターンシップを3年生の夏に経験しておきたかったことに起因します。また、漠然としていた「社会で働く」というイメージをつかみ、自己の視野の拡大と今後の授業や就職活動に生かしていきたいと考えたからです。協定型インターンシップは、事前・事後学修が充実しており、龍谷大学と企業が連携しているため、安心してインターンシップに参加できると思いました。企業への志望理由としては、旅行関係の国家資格を在学中に取得したためと、業界トップのJTBに行くことで、旅行業界の需要や将来像を知ることができると考えたからです。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

A. 多くの反省点と収穫があったインターンシップでした。反省点としては、全体的に自己主張が少なかったことです。また、プレゼンテーションを進めていくにあたって、自分の企画力のなさや資格取得の際に得た知識が実践にすぐに活かせないことを痛感しました。収穫としては、他大学の学生と共に協力して業務やプレゼンテーションをすることで、お互いに高め合い、良い刺激になったことです。また、自分の志望している業界の社会人の方と話す機会は滅多にないため、就職活動の様子や、仕事の魅力や大変さを聞くことができ、とても有益な経験となりました。

Q. インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

A. 勇気を出して、自分から率先して何事も動いてほしいです。こうした方が良いと思ったらすぐに行動に移してください。他人に任せず、自分が行うことで力になります。限られた期間の中で、いかに自分をアピールし、いかに自分の力をつけるかが大切です。また、多くの社会人の方と交流することで、働くイメージというものが見つかると思います。自分に自信を持って、後悔しないインターンシップにしてほしいです。必ず、自分の成長に繋がります。応援しています。



牛村 健人さん
政策学部政策学科
3年生

インターンシップ先▶株式会社エーピーシー商会

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A. インターンシップに取り組もうと思った理由は、2つあります。1つめは、ビジネススキルやビジネスマナーを身につけたかったからです。社会に出る上で、自分はまだまだ社会のことが分かっていませんでしたので、実際に社会で働いている人達と共に働くことで、スキルやマナーを学びたいと思いました。2つめは、自分の弱点を発見し克服したかったからです。社会人の方と共に働くことで、自分に足りないことを明確化し、それを克服して社会に出たいと思いました。これらがインターンシップに参加しようと思った動機です。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

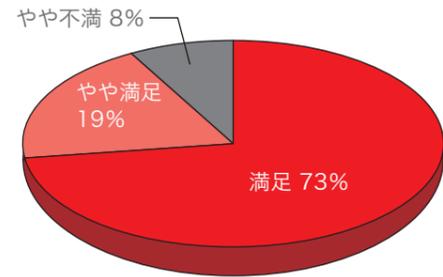
A. 私は、建築資材のメーカー兼商社である企業に行きました。商社なので主に営業を経験させてもらいました。最初は、営業では何をやるか分かりませんでした。営業と言っても、打ち合わせや施工現場の状況確認など様々な業務があり、毎日違う社員の方と、違う業務に関わらせていただいたことで、営業ではどうしているのか分かるようになっていきました。そして、営業においては、いかに相手に話してもらおうかが大切だということを学びました。さらに、話している中で、上手く相手のニーズを汲み取り、それに合わせて提案することが大事だと分かりました。

Q. インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

A. インターンシップに参加しようと思った後でも大丈夫ですが、何か目標を立てた方がいいと思います。目標があるかないかで、モチベーションに大きな差があります。私は、インターンシップに参加することで達成できそうな目標を3つ立てました。目標があったので、夏休みの約2週間の実習も頑張ることができました。そして、全ての目標を達成することができました。これはとても嬉しかったし、今後への自信となりました。だから、インターンシップに参加する方は、1つでもいいので目標を立てて、参加することをお勧めします。

2018年度 協定型インターンシップ実習生(学生)アンケート結果

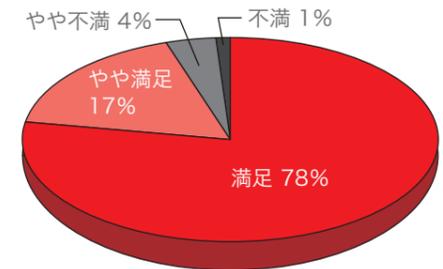
Q.プログラム全体を通して満足度はいかがでしたか



- ・インターンシップに参加することで視野が広がり、就職活動に前向きになれました。
- ・自分の課題がたくさん見つかりました。
- ・事前学修の時間もたっぷりっていただき、ただ行くだけでなくしっかり予備知識、マナー、獲得目標を定め、インターンシップに意味を持たせることができました。
- ・企業に実際に訪れて学ぶ機会は今までになく、机上での勉強と仕事の現場の違いを肌で感じることができました。
- ・事前学修を十分にする時間があつたため、目的や目標を理由も含めて考えてからインターンシップに臨むことができました。また、他の学部や学科、学年の違う仲間達と出会うことができ、様々な考え方の人と触れ合うこともできました。
- ・学内でのグループディスカッションや受け入れ先からのフィードバックがあつたことが特によかったです。これらは、自身の考え方や成果を客観視するためにとても良い刺激になりました。
- ・実際に自分の目で「企業」や「社会」を見ることで、今まで気づかなかったことを多く発見できました。特に、業界研究の本から得ることは一つの情報にすぎず、インターンシップを通して情報の「深み」、「実態」を生で実感できた点が、参加の満足度につながりました。
- ・理系の人だけでなく文系の人との交流やディスカッションは、ものすごく刺激になりました。社会人と一緒に働くことで就活への気持ちが高くなりました。
- ・外部のインターンシップでは会社の説明という感じが多かったですですが、協定型は実際の現場を体験することができたと思います。
- ・事前学修を通じてしっかりと準備をして自信を持ってインターンシップに参加することができ、自分の成長に活かせたと思います。

- ・初めてのインターンシップで分からないことがたくさんありましたが、大学側のサポートが私の不安であったことなどを解消してくれました。また社会マナーなどの将来につながることやクラスでの活動を通して、協調性を学ぶことができました。
- ・自分の知りたいことを知る、または自分の興味を持てるものを探すのに非常に役に立ちました。
- ・事前・事後学修を含めて、インターンシップを通して社会で働くこととはどういうことか、自分の改善しなければならぬところなどを知ることができました。また、今まで関わったことのない学部の人や他大学の人と出会うことができ、色々な人の考え方をすることで視野を広げることができたと思います。
- ・現状の自分と今後やるべきことが明確になったので、満足しています。

Q.企業・団体でのインターンシップ実習に対する満足度はいかがでしたか



- ・たように思います。今回のインターンシップ実習を踏まえ、これからの就職活動を悔いのないよう取り組んでいこうと思えるようになりました。
- ・社会人の考え方や、物事の見方の姿勢を学ぶことができました。
- ・獲得目標以上のことを得ることができました。
- ・その企業の役割や、やりがい、大変さ、職場の雰囲気を感じることができ、意義のある実習になりました。
- ・希望した営業という仕事の一連の流れを実際に体験することができ、将来の進路選択に役立てることができました。
- ・実習先の方々が座学から店舗実習、就活に向けてまでしっかりとタイムスケジュールを考えてくださったのでとても良かったです。
- ・自分が志望した旅行業界に参加でき、それだけでもとても嬉しかったのですが、実習内容もとても充実しており、これは1日のインターンシップでは体験できるものではないと感じました。また、学校の主催するインターンシップだからこそ、自己応募のインターンシップ内容とはまた別の体験をすることができました。
- ・10日間にわたる実習を通して、その企業の良い面・悪い面がはっきり見えました。最近は1Dayのインターンシップも多く開催されているなか、「悪い面」には大きな価値があるように思います。これからの就職活動で「これだけは嫌だ」と思う一面に出会えたことは、とても意味のあることです。
- ・実習先までの通勤に片道約2時間かけて行ったり、時間がお昼から夜までのように厳しい環境や状況の中でも、最後までしっかりと実習に取り組めたのは、よく頑張ったという達成感があります。また、ホテルに対するイメージも変わり、現実を知る良い経験ができたのでとても満足しています。
- ・受け入れ先企業が学生をできるだけ対等に見つ、お互いに実りのある期間にしようと、全力を尽くして受け入れてくださいました。
- ・いろんなものを見る目が変わったし、将来どんな気持ちで仕事に挑むべきか、自分なりにたくさん考えることができました。
- ・自分の向き不向きが分かりました。
- ・理系でありながら営業同行させていただき、エンジニアだけでなく営業マンでの可能性を感じさせていただけました。

- ・至れり尽くせりであり、1,2,3次産業をすべて体験することができ自分の得意不得意を知ることができました。また他校の友達も作ることができ、楽しかったです。
- ・毎日違った部署で作業に携わらせていただき、6次産業について実際の現場から学ぶことができました。
- ・働いている職員の方からは業務の指導だけでなく、なぜ就職したのかや就活のことなどを聞くことができました。一つのことに向かって一丸となって仕事をしている姿を見て、自分もこんなふうになりたいと思いました。実習を通してコミュニケーションの大切さや社会に出て働くやりがいなど多くのことを学べました。また、最後のまとめでは自分のインターンシップ中の評価をいただき、これから自分が伸ばしていきたいところや改善しなければいけないところを知ることができました。
- ・自分のやりたいことをたくさんやらせてもらい、リスクマネジメントなども学べて体験できたので良かったです。
- ・とてもためになることを教わり、参加しなければ一生知ることがなく、損していたかもしれないと思います。
- ・働くことを身近に感じるという志望の際の目標の達成とともに、新たな課題を見つけたりして、学びの継続という姿勢を身につけることができ

協定型インターンシップ 実習内容<参考>

学生のみなさんの自立とキャリア形成を支援するために、実習先の社員・職員と同様の就業体験ができるよう、実践的なプログラムになっています。

実習内容例：A社(営業系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・業界説明・会社説明
●月●日	店舗実習・接客業務
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	他大学生とともに 擬似会社説明会の体験
●月●日	店舗実習
●月●日	商品管理業務・ピッキング
●月●日	営業体験(配送・交渉)
●月●日	産業フェア見学・総括・意見交換会

(全10日間)

実習内容例：B社(技術系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・会社説明
●月●日	製造部門の業務説明
●月●日	部品加工
●月●日	部品加工
●月●日	設計部門の業務説明
●月●日	CAD操作
●月●日	CADによる図面作成
●月●日	営業所見学
●月●日	プレゼンテーション準備
●月●日	成果発表会

(全10日間)

実習内容例：C社(スポーツ系)

日程	内容
●月●日	スケジュール説明・会社概要
●月●日	大会準備・企画
●月●日	大会会場設営・搬入
●月●日	開会式・リハーサル準備
●月●日	式典準備・運営
●月●日	抽選会運営・選手誘導
●月●日	式典準備・運営
●月●日	式典リハーサル
●月●日	閉会式運営
●月●日	最終報告会

(全10日間)

2019年度 短期体験型インターンシップ 事前・事後学修プログラム(予定)

日程	学舎	時限	講義名	内容
6月29日(土)	深草	1限目	オリエンテーション	・インターンシップにどのような態度で臨むべきか ・事前学修の概要と諸注意
		2限目	講義	インターンシップの心構え
		3限目	OB/OGによる パネルディスカッション	「私にとっての職業、職業を通じて考える人生」 (協定型インターンシップ事前学修との合同開催)
7月6日(土)	深草	1限目	ビジネスマナー①	インターンシップの心構え、第一印象、敬語の使い方、マナー、リスクマネジメント など
		2限目	ビジネスマナー②	電話応対(事前訪問時の電話応対)、来客応対 など
		3限目	インターンシップ 事前講座	職業観を磨き、インターンシップにおける学びを深める
		4限目	「職」の専門家による 仕事概論	企業経営者による講演(予定) (協定型インターンシップ事前学修との合同開催)
夏期休暇中		インターンシップ実習(原則として、8/19~9/7の期間中、1週間(実働5日間以上))		
9月12日(木)	深草	1限目	事後学修	実習後の確認・振り返り